

<回覧>

令和3年12月吉日

和合町自治会長 仲田 始
五輪会会長 神谷正夫

浜松まつり 初子祝い（初凧、祝い練り）の募集について

師走の候、朝夕の冷え込みも一段と厳しくなり、皆様方におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より和合町自治会活動にご理解ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、毎年5月恒例の浜松まつりも本番に向けて準備を始める時期となりました。来年度も多くの町民のみなさまにご参加をいただき、お子様のご誕生を祝福し、健やかなご成長を心から祈念して初子様のお祝いをさせていただき、五輪連の心意気を示したいと願っております。

つきましては下記のように募集を行いますのでご参加の程宜しくお願いいたします。

記

募集対象者

- ・ 町内在住または、町内在住の親族等で初子祝いを希望される方。

初子祝いの内容説明について（説明会を開催します）

- ・ 日時：令和4年2月6日（日）AM10:00～
- ・ 会場：馬生公民館

参加を強要するものではありません、説明だけを聞きたい方もお気軽にご参加ください。
後日、担当者と日程の調整をして詳細の説明をさせていただきます。

- ・ 問い合わせ先

ご不明な点がございましたら、お気軽にご相談ください。

ご相談窓口 五輪会副会長 担当：細井 電話053-474-2877

浜松まつり 凧揚げの由来

浜松まつりの始まりは、一説によると今からおよそ450余年前の永禄年間(1558～1569年)に、当時の浜松を治めていた引間城主の長男誕生を祝って城中高く凧を揚げたことが、凧揚げの起源であると言われていますが、記録としては定かではありません。

江戸時代には男の子の初節句に、その子の成長を願って凧を揚げる風習がありましたが、浜松地方では、凧も大きくなり、凧合戦が行われるなど、活気を帯びて本格化していきました。

「遠州のからっ風」と呼ばれる強い風が吹くこの地は、気候的にも凧揚げに好条件であり、子どもの誕生を祝う「初凧」の伝統は、浜松まつりとして現在までこの地に根付いています。